

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派名・個人名）

日本共産党彦根市会議員団
山田多津子、山内善男

(2) 実施日：

2013（H25）年8月22日

【1. 調査の目的】

(1) 本市における現状

農業体質強化基盤整備促進事業において市は土地改良区が事業申請の窓口となっており、本格的な取り組みとしては愛西土地改良区のみが実施窓口となっている。

(2) 本市における課題

市内の農業者や団体から事業取り組みの要望があるにもかかわらず、事業申請の窓口となっている土地改良区が人手不足のため応えられない状況がある。

【2. 調査地選定理由】

(1) 調査項目

日野町における農業体質強化基盤整備促進事業の取り組み状況を調査し取り組んだ現地を視察する。

(2) 選定地1：

日野町

【3. 調査結果】

(1) 内容

1、平成24年度農業体質強化基盤整備促進事業に対する町独自の補助を25%上乗せした。

2、事業概要 用排水路工・・・ 2,44km（41百万円）
農道舗装等・・・ 30,46km（211百万円）
合計 （252百万円）

以上の通り日野町は2億52百万円の事業について政府補助を受けて取り組んだが、彦根市の場合75百万円であった。

なお、自治体の財政規模は一般会計予算、日野町では約90億円に対して、彦根市は約380億円である。

(2) 考察

農業圃場の区画拡大や農道整備における政府補助の制度が知らされ、日野町では取り組みを誘導するために町独自で上乗せの補助制度を確立した。さらに彦根市は土地改良区が申請窓口となったが日野は町農林課が申請窓口となり、農家や集落の要望に応える体制とした。即ち、技術職員を増員し臨時職員をさらに配置し他の職場からも支援の体制をとった。

市でも農家要望に応えるための体制整備と財政援助が求められる。